

「妊 鍼」治療の最前線

不妊治療現場レポート

2

俵IVFクリニック十明生鍼灸院



不妊治療のみならず 身体と心に目を

クリニックの移転開設を期に 鍼灸院と連携

JR静岡駅南口から徒歩4分の距離に俵IVFクリニックが見えてくる。中に入ると、落ち着いた空間が広がっており、先端医療を行う医療機関であることを忘れそうだ。

「不妊治療は患者さんにとって、心身ともに大きな負担になりやすいです。移転前のクリニックでは患者さんにお待ちいただくスペースに限りがあり、申し訳ない気持ちがありました。移転を機に治療や待ち時間の患者さんのストレスを減らせるような待合イス

ペースになるように設計しました。鍼灸の先生による鍼灸治療やメンタルサポートもまた、患者さんの身体・心的状態を安定化させ、不妊治療の効果を上げる要因の一つになっていると感じます」

そう話す院長の俵史子たわらふみこ氏が俵IVFクリニックを開設したのは、2007年。一般不妊治療から生殖補助医療（assisted reproductive technology: ART）を専門とするクリニックとしては静岡市で最初に開院した。

当初より、体質改善外来や漢方外来を設けるなど、妊孕性を高める身体づくりに注目していたが、移転を機に、俵氏が以前に所長を



↑インフォメーションカウンター（左）と待合室ホール（右）。リラックスできる空間が広がっている